

1月30日(日) そば打ち体験食事会



みなさんに囲まれてどう?



手慣れた技ですね!



家でも出来るよう練習中です。



熱いのを早く食べたいですな



さあ、出来ましたよ!



他にもご馳走がいっぱいだよ。

たくさんの人にお世話になり、初めてそば打ち教室を開いてみました。さすがに、男の方が多かったのはとても力になりました。すごく腰の入ったそばが出来上がり、ご馳走になりました。

3月14日(日)草木染め教室がありますので、ご参加ください。

13時から調理室にて…藍染・その他の色で染められます。



ひゃこるネットで取材されました。



みなさん、春のようないい顔してます

2月21日(日) 東 政子先生の絵手紙教室にて撮影!!

ひだまり 「いやあ、春ですなあ。」
公民館の梅の花が、私達にそう呼びかけているようです。
二月にはカナダでバンクバーオリピックが開かれ、のぼせて見ている私は、日本選手団に感動と勇気をいただきました。
もう一つ良いこと。黒沢公民館が皆さまにご利用いただいているお陰で、島根県から優良公民館として表彰されました。(いわみーる会場にて)
そして三月、卒業・転勤・就職、入学準備など、希望に胸を膨らませ旅立つ季節。何かと忙しいですね。えっ? 畑も忙しい? そうですとも... 草木が芽を吹くこの季節、天気の良い日は外に出て、農業も大切な生活の一部です。
私も、冬の為に蓄えていたこのせいの肉を、なんとかしなくっちゃと思案中...。まあ、おやつを我慢すればいいことなのですが... 考えるだけでストレスが溜まりそうです。(直)

先年亡くなった母は、人一倍の働き者だった。働いて、働いて...、また働いて...。昭和三十年代、一家は浜田から古和の里に居を構えたが、しばらくして母は家の一部を使って食堂を始めた。道路に面して三坪ほど仕切り、父が空色のペンキを塗ったL字型のカウンターがあるだけのささやかなものだったが、詰めれば七、八人は座れた。外開きのドアは供用で、家族もそこから出入りする事が多かった。母は独学で料理を習得した。浜田時代に、父と外食して、帰ってから自分で再現してみることまで上達したようだ。試行錯誤の連続でさぞかし苦労したのだろうが、晩年の母が語るころによれば、一度食べればほとんど自分で作れたと自慢していた。そう言われれば確かにそんなこともあって、私がゴルフ場で食べたタンシチューも、孫が所望したローストビーフも、レシピなしでいつの間にか作ってくれて、数多いレパートリーの一つになった。

母は料理を作る時、量るということを一切しなかった。調味料も勘、煮炊きのタイミングも勘、人数分の材料も勘、ほとんど狂うことがなかった。まさに天才肌の人だったが、老いてからこのことを言っていると、ニヤリと笑って「そう?」と嬉しそうにしていた。

さて食堂だが、開き戸の上に、これまた父が自書した「いわみ食堂」という看板を掲げているものの、実態は一杯飲み屋だった。郵便局、発電所、役場や河野建設の人たちが常連客で、仕事帰りに一杯ひっかけ、ほろ酔い気分でご帰還された。子供ながらに色々な思い出があるが、寒い時期になると必ず明確な映像に加えて、臭いや味まで甦るのが、「おでん」である。「ひー姉さんのおでん」をつまんではコップ酒をグビッとやっつて、皆さん幸せになっていたようだ。

その「おでん」いわゆる商売ものである。居間のガラス戸を開ければ店という構造上、幼い弟など、しよっちゅうお客さんの膝に抱かれて、ごちそうになっていた。さて私はどうしたか...。商売用の長方形のおでん鍋は、ガラス戸を開けた壁際に置かれていたので、子供でも手が届いた。だから、夕方になるとお客さんが来る前に、居間からふたを取ってヒョイと盗んだ。盗むといえば言葉が悪い、育ち盛りの母は黙認してくれていたのだ。

まず失敬するのが牛スジと卵、次にいただくのが竹輪と大根、このパターンを数回繰り返す。毎日ダシをつぎ足しては煮込むので、色は黒いが、決して醤油辛いというのではない、秘伝のダシがしみこんで、うまいこと、うまいこと。

現在では、おでん屋でもコンビニでも、あの色とコクは流行らないのか、なかなか出合えない。母が研究を重ねて作り上げた「ひー姉さんのおでん」のファンだった人は現在でもご健在であるが、実は夕飯の息子も大ファンだったのだ。

私の酒好き、居酒屋好きは、この時期にすっかり仕込まれたのは間違いない。

古和の里 一汁一菜 その式 下古和 石川正史



野上館長の出番です!

黒沢公民館が優良公民館に表彰されました



岡見公民館は、この研究集会で「学校支援地域本部事業」を発表されました。

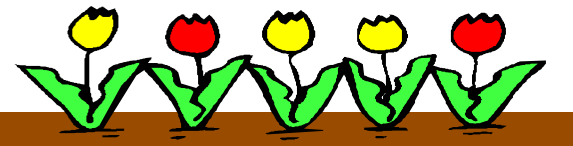
2月18日(木)「島根県西部公民館研究集会」が開かれました

この学生さんの手紙を読んで、韓国をすごく身近に感じました。願ひ事は日本の方も変わりませんね。

気が付けば一月末、6区の酒井さん家の木の枝に、割れた風船に一通の巻物がありました!

卒業・卒園おめでとう!

- 高校生 三浦 兼春くん
- 三浦 真也くん
- 石川 想さん
- 山元 亜矢さん
- 小学生 河野 慈演くん
- 園児 小松 桃子ちゃん



花見に来てね!

「桜まつりのお知らせ」
大平桜まつり... 4月3日・4日の土日
一本桜まつり... 桜の開花を見てから!

韓国語の翻訳
今年成績も上がって、女の子の友達ができますように!
(かわいい願ひ事でした。)

